

中央教育審議会地方文化財行政に関する特別部会 <与謝野町>

テーマ：「町づくりと文化財保護」

■与謝野町は、平成18年3月に3町（旧：加悦町・野田川町・岩滝町）が合併し誕生。人口は22,343人（平成29年8月末現在）。山間地域ではあるが、この地に暮らした人々の長い営みを示す多数の文化財がある。

当町の文化財行政の本格的な取組は、昭和39年に旧加悦町が町文化財保護条例を制定し、町文化財保護委員会を設置したことに始まる。



与謝野町域の全国区級の文化財テーマは2つ

1. 古代史「丹後王国」の「大型弥生墓の大風呂南墳墓群」「日本海3大古墳の一つの蛭子山古墳」の古代王墓群
2. 織物産業史「丹後ちりめん産業」関連文化財群
（日本遺産認定「丹後ちりめん回廊」の構成文化財多数）
※その他に未指定の「阿蘇海」（特別名勝「天橋立」（宮津市域）の海）と鬼伝説文学の「大江山連峰」

■首長部局「現状の町の文化財保護に関する取り組み」

現 状

- ・与謝野町での文化財保護行政は「教育委員会部局」（一般的な事務所管区分）
- ・首長部局での文化財行政との関わりは、地域特有の「観光資源」の「活用」として歴史的町並み保存地区を舞台に展開中（主に観光交流課）
 - …「交流人口」の活性化のため、「個性的な町づくり」の一環として、与謝野町の「個性」を歴史的な特色ある文化財（歴史的町並み）に求めた取り組み。
 - …自治体名を周知することで、人・財の還流を促す。

全国史跡整備市町村協議会の役員という視点

- ・本協議会は首長で構成され、それぞれの自治体が地域固有の歴史的な文化財を「地域資源」として位置付け、これを「活かした地域づくり」を推進している。
- ・予算要望では、第一に地域の文化財の「保護」項目があり、さらに「その活用」による「地域づくり」へとつなげている。

旧町時代の文化財行政の体制

旧3町のうち旧加悦町では、教育委員会部局の文化財担当が2名に増員された後、平成12～17年度は、首長部局（企画情報観光課）と教育委員会部局（社会教育課）へ1名ずつの配置（合併時（平成18年）に教育委員会部局に再統合）

■教育委員会部局「首長部局に移管するにあたっての留意事項」

目的性と役割

- ・文化財行政を「教育委員会部局及び首長部局」で所管する「それぞれの目的・役割」の明確化
既知の一般的な傾向として、
 - …首長部局：観光資源等としての「活用価値」の優劣で判断する傾向
文化財の取捨選択
 - …教育委員会部局：学術的価値を調査し、保護保存（修理等含む）し、その価値を周知・普及し将来に伝える
教育の場（学校教育・社会教育）が主
全文化財を対象

組織と相互連携

- ・全文化財の学術的価値に基づく保護保存と活用目的性に基づく取捨選択の両立は「課題」
 - …教育委員会部局と首長部局の文化財関係部署の連携協議会の設置の義務化など（案）

計画性

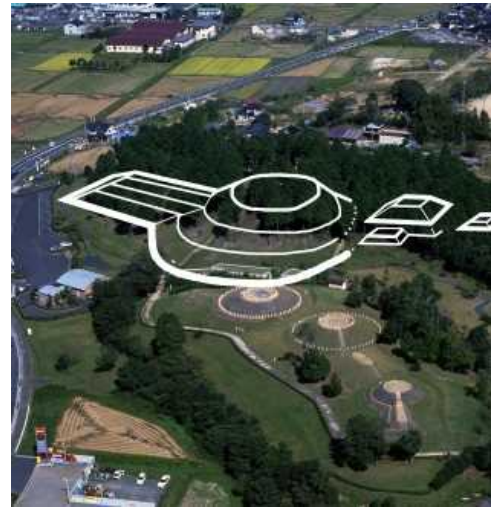
- ・将来の文化財行政の在り方を見定めた各自治体の計画の作成とその実効性の確保が必要
 - …与謝野町歴史文化基本構想を策定中（教育委員会所管事務）
（今年度着手、平成 32 年度中には完成予定）

与謝野町域の全国区級の2大テーマ文化財群



1. 古代地域王国史「丹後国王墓群」

◆国重要文化財「大風呂南墳墓群のガラス釦」
(弥生時代後期)、旧岩滝町



◆国史跡「蛭子山古墳・作山古墳」、史跡整備
備「古墳公園」、旧加悦町(平成4年開園)

2. 織物産業史「丹後ちりめん産業」関連文化財群



◆国選定重要伝統的建造物群保存地区「加悦伝統的建造物群保存地区」(平成17年国選定)
日本遺産「丹後ちりめん回廊」の構成文化財(平成29年認定)
登録商標「ちりめん街道」(商標登録者:町商工会)

※その他



◆特別名勝「天橋立」(宮津市域)の海「阿蘇海」



◆鬼の伝説文学「大江山連峰」